

小学校におけるフッ化物洗口の全校実施について

1. 令和8年度実施概要

令和6年度、教員の多忙化を踏まえた神戸市歯科口腔保健推進懇話会での議論を経て、令和7年度より本格実施し、8年度は対象を拡大して実施

① 家庭へのフッ化物洗口液の配付

全校の3～6年生を対象に、家庭内で洗口ができるよう保護者に対しフッ化物洗口液を配付する。（原則7月の個別懇談会時に配布）

- ・洗口液申込みは、教育委員会のシステム（ツムギノ）を使用して洗口希望者を集約。

※4月末時点【申込率 約46.7%】(21,636人(申込数)/46,338人(3～6年児童数))

- ・申込率が低いため、6月に紙配付により再案内し、申込みできていない保護者には、個別懇談会時に申込受付を行い配付する。

（洗口液配付時にフッ化物洗口の実施方法を確実に伝えるためリーフレットを配付）

② 重点校を対象とした小学校での集団洗口

- ・重点校（1人あたりのむし歯数が全市の平均より多い学校）の1年生を対象とした学校での集団洗口について、実施校を昨年度の5校から30校に拡大予定。
- ・1年生の2学期より洗口を開始し、2年生の1学期まで継続実施する。

年度	7年度			8年度			9年度		
期別	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
Aさん	1年生	1年生	1年生	2年生	2年生	2年生	3年生	3年生	3年生
Bさん				1年生	1年生	1年生	2年生	2年生	2年生
Cさん							1年生	1年生	1年生

※イメージ図  集団洗口実施

2. （参考）令和7年度実施概要

① 家庭へのフッ化物洗口液の配付

- ・全校の5年生・6年生を対象に、家庭内で洗口ができるようフッ化物洗口液を配付。
- ・歯科医師会の協力を得て、各学校歯科医から学校へフッ化物洗口指示書の交付及び保護者説明の動画を作成。
- ・6月のオープンスクール（9校）及び夏休み前の個別懇談会（153校）の機会を利用し、希望する児童の保護者へ配付を行った。

【申込率／児童数】約80.0%（18,969人（申込数）／23,709人（5・6年児童数））

【配付率／児童数】約75.7%（17,958人／23,709人）

② 重点校を対象とした小学校での集団洗口

- ・むし歯数が神戸市平均より多い学校を「重点校」として1年生を対象に実施（実施校）浜山小、桂木小、駒ヶ林小、花谷小、太山寺小

※花谷小：1年生ではなく3年生 ※太山寺小：1・2年生を対象に実施

- ・教員の働き方改革の状況を踏まえ、外部人材により実施。
- ・別途、令和3年度から実施のモデル校は6年生を対象に実施（浜山小・名倉小）